



農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

Science and technology research promotion program for agriculture, forestry, fisheries and food industry

研究紹介 2018



はじめに

今後、所得の増大等を通じて農林水産業が魅力ある産業に生まれ変わるには、農林水産物それぞれの生産流通事情や政策課題等に応じて、ニーズに即した研究開発をより積極的に展開していく必要があるほか、得られた研究成果を速やかに農林水産業・食品産業の現場に社会実装する取組を強化していくことが必要です。

また、我が国経済の再生を確実にする原動力として、将来の持続的な発展を果たすためのブレークスルーとして科学技術イノベーション創出の重要性が指摘されているところであり、農林水産研究においても農林水産・食品分野におけるイノベーション創出に果敢に取り組んでいくことが重要です。

このような考えのもと、農林水産省では平成 25 年度から平成 29 年度までは、産学官の研究勢力を結集して実施する研究開発を、基礎段階から実用化段階まで継ぎ目なく実施し、生産現場等での実用化につながる研究成果を創出する「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」を推進してきました。

本書は本事業のうち、平成 29 年度に終了した 75 課題（シーズ創出ステージ 16 課題、発展融合ステージ 21 課題、実用技術開発ステージ 38 課題）の研究成果を紹介しています。

本書が、これからの農林水産の研究開発に利用され、農林水産業の生産現場等で直面している問題の解決や地域産業の振興等の様々な分野で活用されることを期待しております。

なお、農林水産省では、平成 28 年 4 月より、農林水産・食品分野に、他分野の多様な知識・技術等を導入する産学官連携のしくみ「知」の集積と活用を創設し、オープンイノベーションを推進しています。また、今後の提案公募型の研究開発においても、イノベーションの創出を目指す観点から、「知」の集積と活用による取組を重点的に推進する「イノベーション創出強化研究推進事業」を実施することとしています。

これらの取組・事業を通じて、今後も更に、多様なアイデアと競争的環境のもとでの研究開発とそこから生まれる革新的研究成果の社会実装を進めてまいります。

平成 30 年 3 月

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室長